

中期総合計画主要施策等評価書原案（県の自己評価書）に対する
総合計画審議会意見（案）

1 主要施策の評価に対する意見（案）の基本的な考え方

中期総合計画主要施策等評価制度が、主要施策等の実施状況について、客観的で的確な評価を行い、中期総合計画の着実な推進を図ることを目的としたものであることから、次の2つの観点から意見を作成した。

（1）県の自己評価の妥当性の検証

評価の客観性を確保する観点から、第三者の立場で、県が行った自己評価の妥当性について検証を行い、下記の基準に沿って「妥当」「概ね妥当」「妥当でない」の区分により評定することとした。

《県の自己評価の妥当性に関する意見の区分》

妥当：県の自己評価内容が妥当である場合は「妥当」とする。

（30施策）

概ね妥当：県の自己評価内容に大きな問題はないが、分析に不十分な点がある場合などは「概ね妥当」とし、続けて評価上の留意事項や関連した施策推進の意見を記載する。（14施策）

妥当でない：県の自己評価の内容に異議がある場合は、理由を付した上で「妥当でない」とし、総合計画審議会としての認識を記載する。（0施策）

（2）施策推進に当たっての意見

中期総合計画の着実な推進を図る観点から、各主要施策の推進にあたり特に必要な視点や重点的に取り組むべき事項等についての意見を記載した。

【総合計画審議会の意見の状況（「施策の柱」別）】

施策の柱	「妥当」とされた 主要施策数		「概ね妥当」と された主要施策数	合 計	
	意見有	意見無		意見有	意見無
1 自然と人が共生する 豊かな環境づくり	1	4	3	4	4
2 地域を支える力強い 産業づくり	2	1	5	7	1
3 いきいき暮らせる安 全・安心な社会づくり	9	3	1	10	3
4 明日を担い未来を拓 く人づくり	0	1	3	3	1
5 交流が広がり活力あ ふれる地域づくり	2	7	2	4	7
計	14	16	14	28	16
	30			44	

「意見有」「意見無」は、施策の推進に当たっての意見の有無の状況。

2 挑戦プロジェクトの進捗状況に対する意見（案）の基本的な考え方

挑戦プロジェクトは、各テーマに対応した主要施策の達成状況などによりプロジェクトの進捗状況と推進に向けた取組の方向が示されていることから、挑戦プロジェクトの趣旨（将来を見据えた中・長期的な視点から魅力的な長野県を築いていくために積極的に挑戦していくべき分野横断的なテーマ）も踏まえ、プロジェクトを更に推進する観点からの意見を記載した。

3 意見（案）作成にあたっての視点

- ・主要施策に関する達成目標の客観的な進捗状況評価を基本にしつつ、施策をとりまく経済要因等の分析や変化の状況を勘案し、目標達成へ向けての県の努力や取組についての妥当性を評価する。
- ・達成目標の進捗状況評価に当たっては、その実績値が統計処理等の関係で数年程度公表が遅れるものや評価時に得られない指標については、それを補完できる適切な値などにより状況を明らかにし適切な努力が行われるよう助言をする。

県の自己評価に対する総合計画審議会意見

1 主要施策

主要施策名 【県の自己評価】	意見(案)
1-01 参加と連携で取り組む地球温暖化対策の推進 【一部に努力を要する】	県の自己評価は「概ね妥当」であるが、 ・温室効果ガスの総排出量は、経済活動の要因による部分が多いと思われたため、国全体の状況や長野県の特長や状況を把握し、各部門別の削減努力を促すなど効果的な取組を進める必要がある。 ・福島第一原子力発電所に起因する再生可能エネルギーへの転換の動きについては、地球温暖化防止との関係を注視し、適切な対応をとる必要がある。
1-02 未来へつなぐ森林づくり 【全体的に順調】	県の自己評価は「妥当」である。 < 施策推進に当たっての意見 > ・森林づくり県民税を導入していることから、間伐を着実に実施していくとともに、さらに県民理解を深める取組に努められたい。
1-03 良好な水・大気環境の保全 【比較的順調】	県の自己評価は「妥当」である。
1-04 豊かな自然環境の保全 【全体的に順調】	県の自己評価は「妥当」である。
1-05 資源循環型社会の形成 【一部に努力を要する】	県の自己評価は「概ね妥当」であるが、 ・下水道の普及に伴って構造的に増加傾向にある下水道汚泥の状況を明らかにし、産業廃棄物全般について効果的な削減対策を進める必要がある。 ・進捗状況が「遅れている」指標については、他県比較等により長野県の位置づけを明らかにしながら、県民理解を進め、目標に向け効果的な取組を進める必要がある。
1-06 環境保全活動の推進 【全体的に順調】	県の自己評価は「妥当」である。
1-07 美しく魅力的な景観づくり 【比較的順調】	県の自己評価は「妥当」である。
1-08 農山村における多面的機能の維持 【一部に努力を要する】	県の自己評価は「概ね妥当」であるが、 ・遊休荒廃農地について、市町村や農業関係団体等と連携を図り、解消が進んでいない原因を分析し、解消に向けて取り組むとともに、発生防止に努める必要がある。 ・ニホンジカ等の有害鳥獣の捕獲について、生息数の把握を行いながら、県境を越えた連携を含めた捕獲の取組が必要である。

主要施策名	意見(案)
【県の自己評価】	
2-01 世界へ飛躍するものづくり 産業の構築	県の自己評価は「概ね妥当」であるが、 ・東日本大震災や円高等による県内経済への影響の状況を踏まえて、機動的な施策の展開をする とともに、新たに成長が見込まれる新産業の創出を一層推進する必要がある。
【比較的順調】	
2-02 観光立県「長野」の再興	県の自己評価は「概ね妥当」であるが、 ・観光施策の取組の努力が見られるものの、観光客の減少が続く中、全国の状況把握や日帰り圏内 であっても宿泊客を得ている地域の状況を分析し、観光客増加に向けて、観光事業者と連携しながら 長野県の特性を活かした取組を進める必要がある。
【一部に努力を要する】	
2-03 地域が輝く元気な農業・ 農村の構築	県の自己評価は「概ね妥当」であるが、 ・農業総生産額の目標達成については厳しい状況であることから、全国の状況や品目別の状況を分 析し、増加に向けて競争力の高い園芸産地づくり、マーケティング推進による農産物販路拡大やPRな どの取組を推進する必要がある。
【全体的に努力を要する】	
2-04 持続可能な林業・木材産 業の振興	県の自己評価は「妥当」である。 < 施策推進に当たっての意見 > ・東日本大震災や経済状況の影響により県内新設住宅着工戸数の増加が厳しい状況下で、木材の 生産・流通過程のボトルネックを解消し木材自給率を高める取組を引き続き推進されたい。
【一部に努力を要する】	
2-05 地域に根ざした建設産業 の振興	県の自己評価は「妥当」である。
【比較的順調】	
2-06 活力ある商業・サービス業 の振興	県の自己評価は「妥当」である。 < 施策推進に当たっての意見 > ・主要な指標の実績値がない段階においては、様々な情報を収集し状況把握に引き続き努め、施策 への反映を図られたい。
【判定できない】	
2-07 長野県のブランド創出促 進と発信力向上	県の自己評価は「概ね妥当」であるが、 ・地域間競争が激化している中、長野県の魅力を高めるために、ブランド順位の高い県、順位を上げ た県などを参考とし取り組む必要がある。
【全体的に努力を要する】	
2-08 雇用の確保と安心して働 くことのできる労働環境づ くり	県の自己評価は「概ね妥当」であるが、 ・県内雇用情勢は、東日本大震災等の影響により厳しい状況となることが懸念されることから、雇用確 保に向けた施策展開が必要である。 ・男性の育児休業取得率向上につながるような施策を着実に進める必要がある。
【比較的順調】	

主要施策名	意見(案)
【県の自己評価】	
3-01 健康長寿県の確立	県の自己評価は「妥当」である。
【判定できない】	<p>< 施策推進に当たっての意見 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要な指標の実績値がない段階においては、様々な情報を収集し状況把握に引き続き努め、施策への反映を図られたい。
3-02 安心して質の高い医療の確保	県の自己評価は「妥当」である。
【比較的順調】	<p>< 施策推進に当たっての意見 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組は比較的順調であるが、医療提供体制については長期的視野に立ち、国のシナリオを参考にして県の計画策定を早期に検討し、その計画に基づいた医療スタッフ数の目標値を決めて、その確保を進められたい。 ・医師の地域的、診療科的偏在については、さらに効果的な対策を検討されたい。
3-03 安心して子どもを産み育てられる環境づくり	県の自己評価は「妥当」である。
【比較的順調】	<p>< 施策推進に当たっての意見 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・低年齢児保育などの環境整備については順調に進んでいると思うが、子育てに関する要望等県民の声の把握については引き続き努力されたい。
3-04 高齢者がいきいきと生活できる社会づくり	県の自己評価は「妥当」である。
【一部に努力を要する】	<p>< 施策推進に当たっての意見 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム等の施設整備については促進されてきているが、入所希望増加の状況に留意し、保険者である市町村との協調を図りながら整備を進めるとともに、地域全体での様々な介護サービスの促進も視野に入れた取組に引き続き努められたい。
3-05 障害者が自立して生活できる社会づくり	県の自己評価は「概ね妥当」であるが、
【比較的順調】	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設からの一般就労への移行については、就労希望者の就業率の分析が必要である。 ・障害者の工賃引き上げとともに、労働の質的な面の向上も必要である。
3-06 地域の支え合いによる福祉の推進	県の自己評価は「妥当」である。
【比較的順調】	<p>< 施策推進に当たっての意見 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉のサービスについては、施設整備等のハード対策には限界もあると思われるため、地域全体で支えていくというソフト面での施策の充実に引き続き努められたい。
3-07 誰もが安心できる日常生活支援の充実	県の自己評価は「妥当」である。
【判定できない】	<p>< 施策推進に当たっての意見 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭の支援については、希望状況を踏まえた支援に引き続き努められたい。 ・主要な指標の実績値がない段階においては、様々な情報を収集し状況把握に引き続き努め、施策への反映を図られたい。
3-08 災害に強い県土づくり	県の自己評価は「妥当」である。
【全体的に順調】	<p>< 施策推進にあたっての意見 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中豪雨等による災害の危険性が高まっている中で、防災対策の成果を積極的にPRするなど、地域住民の理解と協力を得ながら災害に強い県土づくりの推進に着実に努められたい。

主要施策名	意見(案)
【県の自己評価】	
3-09 地域防災体制の強化	<p>県の自己評価は「妥当」である。</p> <p>< 施策推進に当たっての意見 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村との連携を強化し、地震、風水害に備えるための体制の強化を進められたい。 ・高齢化が進み消防団員の確保が難しくなるなか、引き続き消防団充実・強化の支援を進められたい。
【全体的に順調】	
3-10 犯罪のない社会づくり	<p>県の自己評価は「妥当」である。</p> <p>< 施策推進に当たっての意見 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要犯罪検挙率は3年連続で「遅れている」となっていることから、引き続き刑法犯を含めて検挙率の向上に努められたい。
【比較的順調】	
3-11 交通安全対策の推進	<p>県の自己評価は「妥当」である。</p>
【比較的順調】	
3-12 消費生活の安定と向上	<p>県の自己評価は「妥当」である。</p>
【全体的に順調】	
3-13 食品・医薬品等の安全確保	<p>県の自己評価は「妥当」である。</p>
【比較的順調】	
4-01 確かな学力と豊かな人間性・社会性を育む学校教育の充実	<p>県の自己評価は「概ね妥当」であるが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力や学校満足度等の学校教育関係の状況把握については、所定の調査結果に加え様々な情報を活用して、施策に取り組む必要がある。
【一部に努力を要する】	
4-02 生涯を通じた学びや育ちの環境づくり	<p>県の自己評価は「概ね妥当」であるが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の情報提供については、提供内容の適時の整理や、県民への的確な情報提供方法の検討を行うなど、有益な情報を効果的に提供する努力が必要である。
【一部に努力を要する】	
4-03 生活を彩る文化芸術の振興	<p>県の自己評価は「妥当」である。</p>
【全体的に順調】	
4-04 豊かなスポーツライフの実現	<p>県の自己評価は「概ね妥当」であるが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの振興を図る「総合型地域スポーツクラブ」については、実態を十分把握した上で、検証を行っていく必要がある。
【比較的順調】	

主要施策名	意見(案)
【県の自己評価】	
5-01 市町村が主役の地域経営の確立 【全体的に順調】	県の自己評価は「妥当」である。 < 施策推進に当たっての意見 > ・市町村と県とのパートナーシップを強固なものとしていくため、実効ある取組としていくことに引き続き努められたい。
5-02 ボランティア・NPOが活躍できる環境づくり 【一部に努力を要する】	県の自己評価は「妥当」である。
5-03 人権が尊重される社会づくり 【全体的に順調】	県の自己評価は「妥当」である。
5-04 男女共同参画社会づくり 【一部に努力を要する】	県の自己評価は「妥当」である。 < 施策推進に当たっての意見 > ・男女共同参画社会づくり推進のため、国や他県の状況を踏まえ、計画達成に向けて、さらに具体的な取組を推進されたい。
5-05 国際性あふれる社会づくり 【比較的順調】	県の自己評価は「概ね妥当」であるが、 ・外国籍の子どもの就学支援については、正確な実態把握に一層努め、多様な就学形態の中で効果的な支援を進める必要がある。 ・外国人観光者に配慮して、観光案内施設などの改善を進める必要がある。
5-06 元気な農村づくり 【全体的に順調】	県の自己評価は「妥当」である。
5-07 快適で暮らしやすいまちづくり 【全体的に順調】	県の自己評価は「妥当」である。
5-08 高速交通ネットワークの整備 【全体的に順調】	県の自己評価は「妥当」である。
5-09 道路ネットワークの整備 【全体的に順調】	県の自己評価は「妥当」である。

主要施策名	意見(案)
【県の自己評価】	
5-10 公共交通ネットワークの確保	<p>県の自己評価は「概ね妥当」であるが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス等の利便性向上や高齢者等の交通弱者への対応など、住民ニーズの具現化に努める取組が必要である。 ・東日本大震災を契機に、地域公共交通の重要性が高まるものと考えられるため、維持・存続・活性化に向けた取組が必要である。
【比較的順調】	
5-11 高度情報通信ネットワーク社会の推進	<p>県の自己評価は「妥当」である。</p>
【比較的順調】	

2 挑戦プロジェクト

挑戦プロジェクト名	意見(案)
一人当たり県民所得全国レベルへの挑戦	<p>産業活性化に向けた施策の推進にあたっては、東日本大震災等の経済的激変の中、これまでの取組を継続するだけでなく、様々な状況に応じ、長野県の特徴を生かしながら効果的な施策を機動的に推進する必要がある。</p> <p>また、長野県経済の活性化を通して国全体の活性化に貢献する視点が必要である。</p>
市町村が主役の元気な県づくりへの挑戦	<p>住民に最も身近な市町村と県とのパートナーシップを強固なものにするために、より実効的な取組を行い、それぞれの特色を生かした自主的、主体的な地域づくりへの支援が必要である。</p>
健康長寿NO.1確立への挑戦	<p>県民の健康を支える医療スタッフの確保については、長期的視点に立って、国の計画に基づいた県自体の目標とする医療スタッフ数を検討していく必要があるとともに、医療スタッフについては、特に医師の地域的もしくは診療科の偏在に関して、総合診療医養成を含む対策が必要である。</p> <p>県民の長寿を支える福祉サービスとしては、施設への入所希望者の状況を踏まえ、市町村と協調しながら施設整備等のハード対策を進めるとともに、地域全体で支えていく介護サービス等のソフト対策が必要である。</p>
次代を担う多彩な人材育成県への挑戦	<p>東日本大震災以降の日本の置かれている状況を分析し、中長期的な視野に立った産業人材の育成に取り組む必要がある。</p> <p>学校教育関係の状況把握については、所定の調査結果に加えて様々な情報を活用して、施策に取り組む必要がある。</p> <p>生涯スポーツの振興については、構成事業の実態を十分把握した上で、検証を行っていく必要がある。</p>
出産・子育てにやさしい県への挑戦	<p>低年齢児保育などの環境整備が順調に進むなか、男性の育児休業取得率が向上しないなど、仕事と子育てを両立できる環境整備が遅れている状況にあることから、行政を含め多様な主体が連携して出産・子育ての環境づくりに取り組む必要がある。</p>
地球温暖化対策先進県への挑戦	<p>・温暖化対策については、国全体の状況を把握しながら長野県の置かれている位置づけを明らかにし、取組を効果的に進め温室効果ガスの一層の削減を図る必要がある。</p> <p>・森林による温室効果ガスの削減について、森林整備を進めることにより効果的な削減につながることから、間伐の着実な実施を行うとともに、県民の理解を深める取組が必要である。</p>
減災による安全な県づくりへの挑戦	<p>大規模災害の発生等に備えるため、県と市町村との連携による体制の強化を進めるとともに、集中豪雨等による災害の危険性が高まっている中で、地域住民の理解と協力を得ながら減災による県づくりを推進する必要がある。</p>